

## 実行委員



おおしま まさのぶ

**大島 正伸** 実行委員長

Masanobu OSHIMA

金沢大学がん進展制御研究所・教授

### 【プロフィール】

北大獣医学部で、馬や牛など大動物を相手に病理学を勉強しました。就職した製薬企業の研究所で、マウスを使った発生工学に出会い、それ以来、胃がん、大腸がんのモデルマウスを開発し、消化器がん悪性化機構の研究に従事しました。とくに、宿主反応による微小環境に着目した研究を、研究室の皆さんと展開しています。若手研究者の育成に少しでも貢献できればと、2016年から蓼科講習会の実行委員長を務めて、今回で6回目です。

### 【若手研究者への一言】

大学院進学や、研究所や企業などへの就職、そして新しい研究プロジェクトの開始や、思いがけない発見など、研究の世界はまさに人生の岐路の連続です。思い返してみると、その時その時に、いろんな人達の影響を受け、助けられながらも迷い、「ああ、良かった。」とか「しまった！」が交錯して来ました。目の前にある選択肢にどう立ち向かうのかを悩むのは、若者の特権です。悩み多い研究人生を楽しんでください！



せいみや ひろゆき

**清宮 啓之** 実行副委員長

Hiroyuki SEIMIYA

公益財団法人がん研究会  
がん化学療法センター  
分子生物治療研究部・部長

### 【プロフィール】

埼玉県出身。1990年東大薬学部卒、1995年同大学院薬学系研究科博士課程修了。癌研、米国ニューヨーク大を経て2005年より現職。専門領域はがん分子標的創薬およびテロメア生物学。趣味は温泉・ジャズ、好きな言葉は「信頼」。

### 【若手研究者への一言】

これだけは誰にも負けない！という自己の強み、得意技を見つけて邁進して下さい。



うえの まさき

**上野 正樹**

Masaki UENO

香川大学医学部・  
病理病態生体防御医学講座・  
炎症病理学・教授

### 【プロフィール】

1985年京都大学医学部卒、1993年同大学院修了。1994年ニューヨーク州立発達障害基礎研究所（スタテン島）へ留学。2013年より現職。専門領域は神経病理学で、血管性認知症における血液脳関門障害の役割と認知症増悪における脈絡叢の役割について研究継続中である。趣味は、囲碁。

### 【若手研究者への一言】

興味を持ったやりがいのある研究にとことん夢中になってください。



おおいし たかお

**大石 高生**

Takao OHISHI

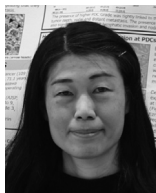
京都大学霊長類研究所  
神経科学研究部門  
統合脳システム分野 准教授

### 【プロフィール】

専門領域：神経科学  
趣味：海産無脊椎動物採取・飼育、音楽鑑賞、工作

### 【若手研究者への一言】

どんな仕事をするときも、どんな局面に立ったときも、楽しもう。それが成果とやる気の原動力！ピンチはチャンス！手を動かさないときは頭を動かそう。コミュニケーションはIT活用。



きよかわ えつこ

**清川 悦子**

Etsuko KIYOKAWA

金沢医科大学 医学部 病理学 I  
教授

【プロフィール】

1993年浜松医大・医学部卒、1997年医学博士。国立感染症研>ジュネーブ大>理研(和光)>JST さきがけ>阪大微研>京大を経て、2011年より現職。専門領域は蛍光イメージングと実験病理学・細胞生物学。余暇の過ごし方：(岸本佐知子まわり)と映画。

【若手研究者への一言】

これから一緒に頑張る研究仲間を見つけて、切磋琢磨してください。ライブイメージングをしてくれる助教を募集中です！



しのはら たかし

**篠原 隆司**

Takashi SHINOHARA

京都大学大学院医学研究科  
分子遺伝学分野・教授

【プロフィール】

1993年京都大学医学部卒、1996年医学博士。ペンシルバニア大学へ留学後、2000年より京都大学医学研究科分子生体統御学講座助手、先端領域融合医学研究機構助教授を経て、2004年より現職。専門は精子幹細胞。趣味は読書。

【若手研究者への一言】

新分野を開拓してください。



ひっぽう よしたか

**筆宝 義隆**

Yoshitaka HIPPO

千葉県がんセンター研究所  
発がん制御研究部部长

【プロフィール】

1994年東大医学部卒、第三内科入局(肝臓グループ)。2000年東大大学院修了(医学博士)。東大先端研、コールドスプリングハーバー研究所、国立がん研究センターを経て2014年より現職。2019年より千葉大連携大学院客員教授(兼任)。専門領域は分子腫瘍学。学生時代より発がん研究に興味を持ち、現在も依然として興味が尽きません。趣味は料理。

【若手研究者への一言】

若手を取り巻く環境は年々厳しくなっているかもしれませんが、この技術講習会に参加してたくさんの横のつながりを構築したり、メンターを探し当てたりしてください。どんなに重要な遺伝子変異でも単独では発がんしません。協調的に「発がん」が達成できる同士や恩師とめぐり合うことがとても大切だと思います。



ふじた やすゆき

**藤田 恭之**

Yasuyuki FUJITA

京都大学 医学研究科  
分子腫瘍学分野・教授

【プロフィール】

1990年京大医学部卒、3年間の臨床研修、半年間のアフリカ放浪を経て、1997年同大学院医学系研究科修了。Max-Delbruck Center(ベルリン)にて6年間ポスドク、MRC, LMCB, University College Londonにてグループリーダー、2010~2020年北海道大学遺伝子病制御研究所、2020年1月より現職。専門領域は細胞競合。がんの超初期段階の病変を早期に診断し予防的に治療することを目指している。趣味はバドミントン・ジョギング、座右の銘は「世に生を得るは事を為すにあり」。

【若手研究者への一言】

「ヤス」あるいは「ヤスさん」と呼んで下さい。僕自身、まだまだ未熟な人間ですが、熱く語り合いたいです！



ふたくち みつる

**二口 充**

*Mitsuru FUTAKUCHI*

山形大学医学部病理診断学講座  
教授

**【プロフィール】**

専門領域：病理学・分子腫瘍学

趣味：バイク（大型）、鉄道模型（HO）、ラグビー（観戦）、ワイン（勉強中）

**【若手研究者への一言】**

忌憚ない意見を言ってくれる友人を他分野で数多くみつけるように頑張ってください。



みやかわ つよし

**宮川 剛**

*Tsuyoshi MIYAKAWA*

藤田医科大学  
総合医科学研究所  
システム医科学研究部門 教授

**【プロフィール】**

1993年東大文学部卒、1997年同大学院人文社会系研究科修了。博士（心理学）。理研 BSI、米国 NIH、バンダールビルト大学、MIT を経て、2003年京大・助教授。2007年より現職。専門領域は行動神経科学、精神医学。趣味はランニング。

**【若手研究者への一言】**

What is time? What is space? くらいの疑問からスタートしてみよう！